



● 草の根パートナー型

平成21年度第一次補正予算による草の根技術協力事業 緊急経済危機対応-包括型採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	カンボジア
2. 事業名	スバイリエン州における農産物の供給・流通システム構築プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	IVYは現事業「女性による野菜の共同生産・共同出荷を通じた農村復興プロジェクト」においてスバイリエン州に女性組合の組織を活かした生産者グループを組織し、地元市場や首都での野菜共同販売を支援してきた。この活動がスバイリエン地方農業局に評価され、農業局の依頼でベトナム国境の街バベットの大型ホテルへ野菜が生産者グループから出荷されるようになった。しかし現対象村の20村の生産量だけでは大口の注文に応えることは難しく、スバイリエン州全体の野菜栽培農家の組織化が求められている。またこの大口の出荷が今年始まったばかりであり、女性組合の生産者協会のリーダーたちの運営能力も十分開発されていない。最終的な自立運営に向けて時間をかけて人材を育成し組織を支援していく必要がある。
4. 事業の目的	スバイリエン州の農民を組織化し、農産物を定期的に大口の顧客に出荷できるシステムを確立する。
5. 対象地域	スバイリエン州7郡のうちスバイチュム郡、スバイテップ郡、コンボンロー郡、スバイリエン町を中心とした販売用野菜の栽培が可能な地域。
6. 受益者層	上記地域の約60村の野菜栽培農家約900世帯、(及び既存の女性組合生産者協会)
7. 活動及び期待される成果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 野菜供給協会の設立 →野菜供給協会が設立され、メンバーを中心とした運営がなされる 2. 協会の出荷体制の確立 →定期的な大口の出荷体制が整い、出荷が開始される。 3. 野菜栽培技術向上のための農業指導 →農家の野菜栽培技術が向上する。 4. 販売店舗運営 →農産物販売店舗が協会の販売網の一つとして確立される 5. マーケティング・商品開発支援 →協会の加工食品のマーケティングと商品開発が強化される。 6. 野菜供給協会の経営・組織運営の強化 →協会の運営を担う人材が育成される。 7. 女性組合生産者グループ及び女性組合生産者協会のマーケティングと運営をサポートする。 →既存の女性組合生産者グループと女性組合生産者協会の能力が強化される。
8. 実施期間	2010年1月～ 2012年3月 (2年3ヵ月)
9. 事業費	45,000千円
10. 事業の実施体制	プロジェクトマネジャー、国内調整員 (以上日本人) プロジェクトコーディネーター、会計・総務、農業開発員3名、マーケティング開発員4名、コミュニティー開発員3名、運転手2名 (以上カンボジア人IVY職員) スバイリエン農業局農業普及員1名、現地NGO協力団体2団体
II. 実施団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人 国際ボランティアセンター山形(IVY)
2. 活動内容	カンボジア支援、在住外国人支援、国際理解・環境教育、国際イベント・セミナー等